

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公開番号】特開2014-44461(P2014-44461A)

【公開日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-013

【出願番号】特願2012-184852(P2012-184852)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/60 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/60 2 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

前記入力部は、前記オブジェクトの境界を特定するマーク線により、前記入力画像における、前記オブジェクトの全体を特定するラフキャプチャモードがあり、

前記オブジェクト抽出部は、前記ラフキャプチャモードの場合、前記マーク線が閉曲線ではないとき、先端部および終端部を結んで前記閉曲線を構成し、前記入力画像の前記閉曲線内の領域を、前記オブジェクトを含む前景とし、前記閉曲線外の領域を背景としてオブジェクト画像を抽出する

請求項 1 に記載の画像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

前記入力部には、前記オブジェクトの境界を特定するマーク線により、前記入力画像における、前記オブジェクトの全体を特定するラフキャプチャモードがあり、前記オブジェクト抽出部には、前記ラフキャプチャモードの場合、前記マーク線が閉曲線ではないとき、先端部および終端部を結んで前記閉曲線を構成し、前記入力画像の前記閉曲線内の領域を、前記オブジェクトを含む前景とし、前記閉曲線外の領域を背景としてオブジェクト画像を抽出させる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

モード判定部 4 1 は、入力部 1 1 より供給されてくる操作信号および表示部 1 3 より供給されてくる入力部 1 1 が表示部 1 3 のいずれの位置に接触したかを示す検出情報に基づいて、B G (背景画像) モード、または F G (前景画像) モードのいずれであるかを判定する。尚、以降において、画像処理部 1 2 に供給される情報のうち、入力部 1 1 より供給

されてくる信号を操作信号と称し、表示部 1 3 より供給されてくる情報を検出情報と称するものとする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 4

【補正方法】削除

【補正の内容】